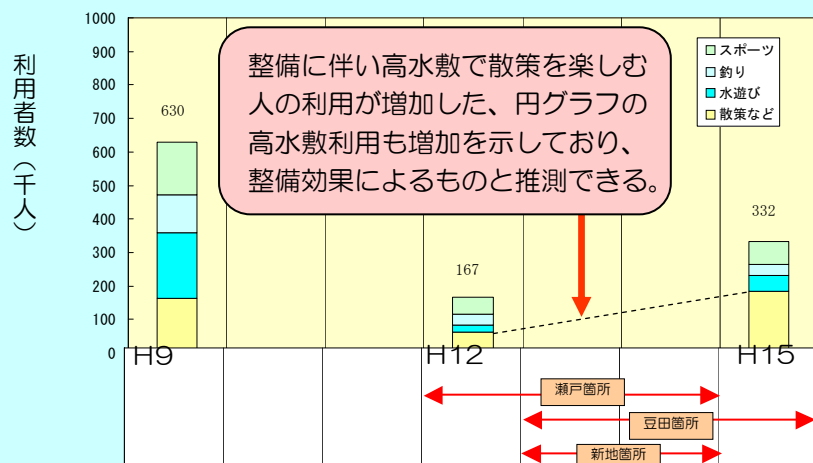


5. 整備効果

5.1 河川利用状況

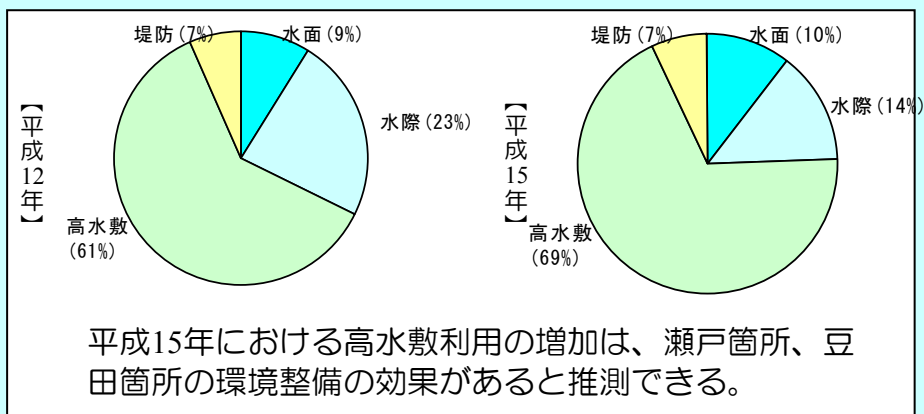
- 平成9年から平成12年にかけて利用者が減少したが、その後環境整備事業を重点的に実施することで増加に転じている。平成15年では、概ね33万人の利用がみられる。
- 瀬戸・新地箇所（親水護岸）と豆田箇所（高水敷）の完成前後で17万人程度年間の河川利用者が増加している。

吉井川空間利用状況（河川水辺の国勢調査）



吉井川における水面の利用人口は中国管内の河川（13河川）で4位であり岡山三川の中では1位の利用となっている。豆田箇所を中心に緩やかな流れを利用した力ヌー利用が多いことによると思われる。

利用場所別の利用者割合



	総利用者数		水面	
太田川	1位	423万人	1位	26.3万人
江の川	6位	47万人	2位	7.7万人
千代川	10位	17万人	3位	3.6万人
吉井川	7位	33万人	4位	3.5万人

5.2 施設利用状況（地域活動への波及効果）

瀬戸内バルーンフェスティバル（主催：瀬戸内バルーンフェスティバル実行委員会）

環境整備事業により豆田箇所を整備された高水敷一帯を利用し、「瀬戸内バルーンフェスティバル」が毎年開催されている。平成17年には12回目を数え、毎年大勢の観客で賑わい、瀬戸内市の一大イベントとなっている。

整備後は、高水敷の利便性が向上し、1.5万人から2万人の参加がみられる。



イベント開催状況



デイキャンプ利用



川遊び

イベント活動開催に伴い、他の利用も増加している。



その他イベント

吉井川では、その他にも環境整備を実施した箇所において、様々なイベントが開催されている。

吉井川にかかわるイベント一覧				
イベント名	整備箇所	開催月	場所	主催
吉井川フェスタ	新地箇所	7月	岡山市西大寺新 左岸	吉井川フェスタ実行委員会
金剛川 水辺の楽校 子どもの夏	—	7月	和気町 こんごう水辺の楽校	金剛川水辺の楽校推進協議会
吉井川カヌーマラソン	瀬戸箇所	6月	坂根堰上流 右岸	岡山カヌークラブ事務局
B&G吉井川クリーンフェスティバル カヌー教室	瀬戸箇所	7月	坂根堰上流 右岸	子供の居場所づくり実行委員会
岡山市クロスカントリー大会	西大寺箇所	1月	雄川橋下流 左岸	岡山市教育委員会
ウェイクボード競技大会	西大寺箇所	8月	雄川橋下流 左岸	吉井川ウェイクボード競技団体

2005 岡山国体



5.3 環境学習

吉井川では、小・中学校のこども達を対象として水質調査や水生生物調査などが実施されている他、吉井川特有の自然環境が学習できる場を、地域の企業が地元NPOなどの協力を得て提供している。

「水生生物調査」

熊山箇所では、毎年水生生物による水質簡易調査が実施されており、磐梨小学校が調査を行っている。

その他調査箇所と参加校

調査箇所	調査位置	参加小・中学校
田原箇所	和気橋	和気中学校など
瀬戸箇所	弓削橋	瀬戸中学校など
福岡箇所	備前大橋	長船中学校など



水生生物調査

「出前講座 水質調査」

東栗倉小学校の児童が、「水の性質」「川との関わり」などを学習した後、瀬戸箇所において、パックテストに水質調査を実施した（出前講座：水のはなし）をテーマに、出前講座が行われた。



「貴重種（アユモドキ）の展示」

キリンビール岡山工場（瀬戸町）では、瀬戸町、岡山淡水魚研究会が協力して、施設内の見学スペースで国の天然記念物であるアユモドキの展示を行っている。

展示場には、子どもたちが、アユモドキの観察に訪れ、普段見ることが出来ないアユモドキの観察を通じ、生物の保護及び自然環境の保全の大切さを学んでいる。

国指定
天然記念物

アユモドキ

たいせつな魚たち

アユモドキと水辺の仲間の水権展示

あそびに来てね！

まっく使って。

平成18年7月25日(火)から8月6日(日)まで
9:30~17:00 (7月31日の月曜日は休館日)

会場 キリンビアパーク岡山 <キリンビール(株)岡山工場>

展示期間中のイベント

展示、おさかな教室とも 無料 で参加できます

おさかな教室 7月30日(日) 11:00~12:00 展示会場にて
おさかな教室は、おさかなの生態や飼育方法などについて、おさかなの飼育方法について
おさかな教室は、おさかなの生態や飼育方法などについて、おさかなの飼育方法について
おさかな教室は、おさかなの生態や飼育方法などについて、おさかなの飼育方法について

主催/瀬戸町教育委員会 企画/岡山県水産研究会
協力/キリンビール(株)岡山工場 後援/岡山県教育委員会 山陽新聞社
問い合わせ先/瀬戸町教育委員会事務局(〒761-0111 岡山県瀬戸町1-4-94)



キリンビール岡山工場でのアユモドキの展示

5.4 地域の協力体制

吉井川フェスタ河川清掃活動

新地箇所では、毎年開催されている「吉井川フェスタ」の前に、会場及びその周辺で清掃活動が実施されている。復元された砂浜の清掃活動を行い、いつまでもきれいな砂浜を保全するための活動が根付いている。

吉井川フェスタ(清掃)



整備箇所の維持管理

整備箇所では、除草作業や清掃など日常管理を施設管理者が実施している。

瀬戸箇所 大内ふれあい公園(瀬戸町) 豆田箇所 吉井川河川公園(瀬戸内市)
新地箇所 吉井川河川敷公園(岡山市) 熊山箇所 くまやま水辺の楽校(赤磐市)



日常の維持管理(除草)の様子

ボランティアによる清掃

地域の各団体が独自に河川清掃活動を実施している。

クリーン作戦：【八日市親睦会】 河川清掃：【坂根自治会、キリンビール(株)岡山工場】
B&G吉井川クリーンフェスティバル：【子供の居場所づくり実行委員会】
吉井川清掃：【西大寺青年会議所】など



洪水後の清掃状況

坂根地区自治会は、長年の清掃活動に対し河川愛護協力者団体表彰(H18)を受けた。

5.5 地域住民の評価

- 平成15年に実施した「川の通信簿」によると、瀬戸箇所（弓削河川公園）、和気箇所（吉井川ふれあいパーク、金剛川水辺の楽校）において四ツ星（☆☆☆☆）、新地箇所（吉井川左岸河川敷公園）、熊山箇所（熊山橋付近広場）において三ツ星（☆☆☆）の評価が得られている。

＜川の通信簿（H15実施）における住民の評価＞

■特に良い点

- 親水性があり、景色も良い（弓削河川公園）
- 砂浜が再生されていることから、水辺に近づきやすく、遊びやすい。（吉井川左岸河川敷公園）

【評価基準】

- 五ツ星：非常によい、素晴らしい。
四ツ星：相当よい、満足感を味わえる。
三ツ星：かなり良い部分があり、一定の満足感が味わえる
二ツ星：ある程度よい部分がある。
一ツ星：一部は良い部分がある



（瀬戸箇所）



（新地箇所）

施設位置図



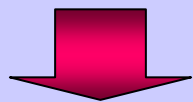
5.6 費用対効果分析（試行）

「河川に係る環境整備の経済評価の手引き（試案）H12.6」に基づき、試行的に評価を行った。

（1）便益の計測

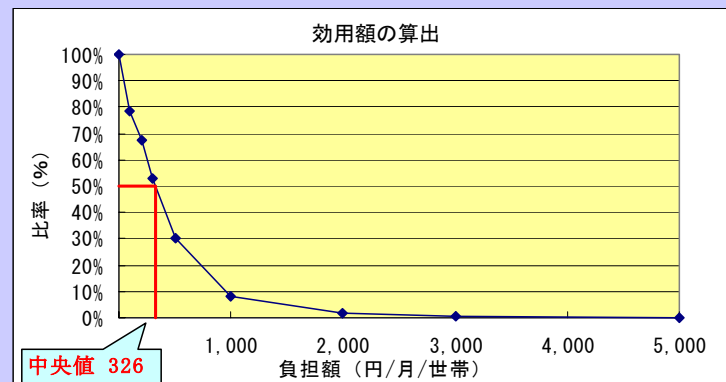
- ①計測方法 : CVM（仮想市場法）に基づき負担金の支払い意思額（WTP）を計測。
- ②アンケートの内容 : 吉井川水系の河川環境整備事業に対して、「あなたの世帯では、負担金が毎月いくらまでなら事業に賛成されますか？」
- ③集計世帯数 : 直轄区間沿川の4市2町（岡山市、瀬戸内市、備前市、赤磐市、瀬戸町、和気町）の中で無作為に抽出した1,500世帯にアンケートを配布した。

※ 沿川全体：約2万世帯の7% ※ 有効回答数：374世帯（回収率24.9%）



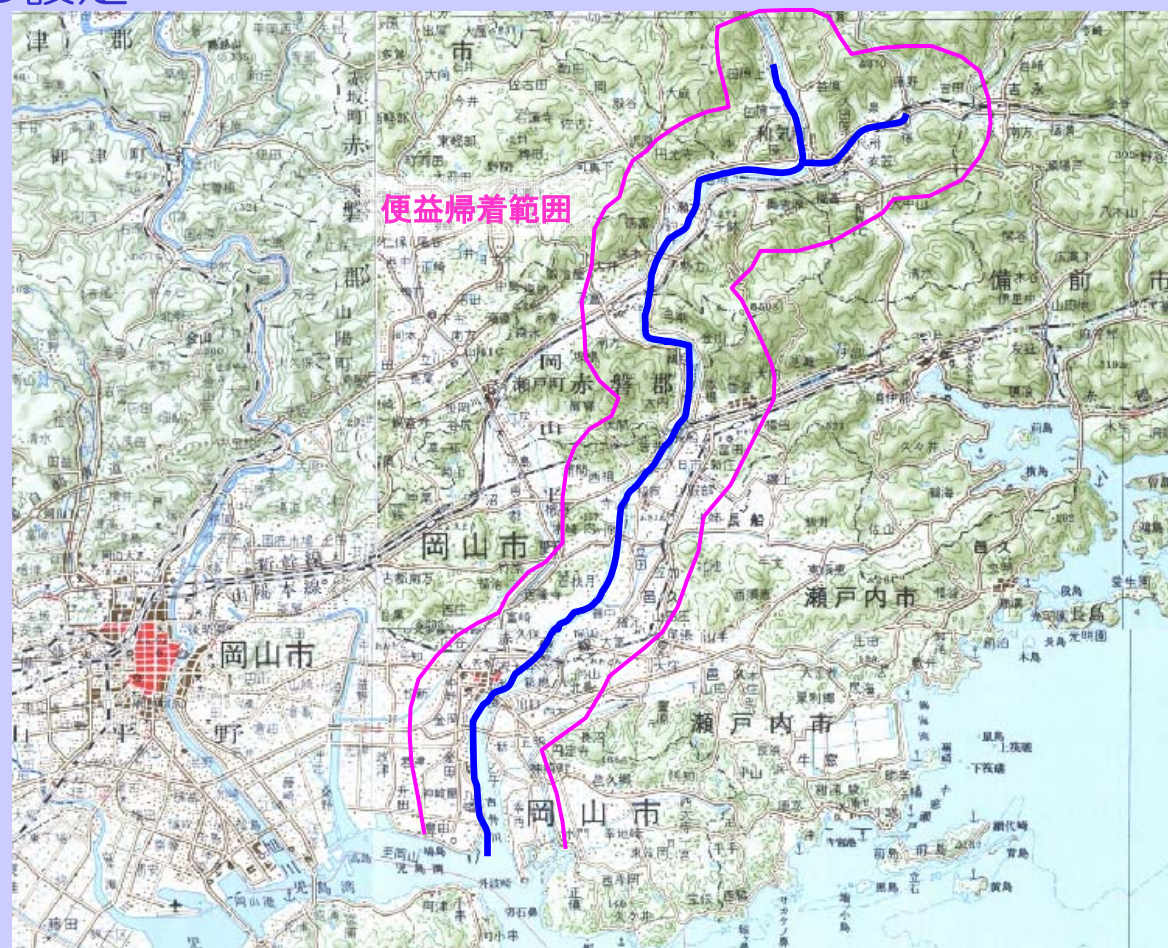
④集計結果：

支払い意思額＝326円／月／世帯
（WTP中央値）



(2) 便益帰着範囲の設定

吉井川の河川利用は、散策や水遊びなどの沿川住民の利用が主で、徒歩や自転車による利用が多いため、アンケート結果により、**便益の帰着範囲**を沿川の2 kmに設定した。



(3) 便益計測結果

年便益額＝326円／月／世帯×22,758世帯×12ヶ月
＝89.0百万円

(4) 費用対効果分析結果

評価期間を事業完成後50年間とし、現在価値化を行った。

◇総便益 約2,113百万円

⇒親水性の向上

⇒イベントの開催、地域の活性化

⇒スポーツなど健康づくりの場、子供達の環境学習の場の創出

(※) 総便益は、50カ年の年便益総和に残存価値を加え算出した。

◇総費用 約1,482百万円

⇒総事業費、維持管理費

(※) 総費用は、総事業費に50カ年の維持管理を加え算出した。

(※) 維持管理費は、累積事業費の0.5%と設定した。

◇費用便益比 (B/C)

⇒総便益／総費用＝2,113百万円／1,482百万円
≒1.43

広域的な利用を考慮すると、実際にはこれ以上の効果も期待できる。

6. 今後の予定

6.1 整備予定内容

整備予定 ⑦ 田原箇所 (高水敷整備)

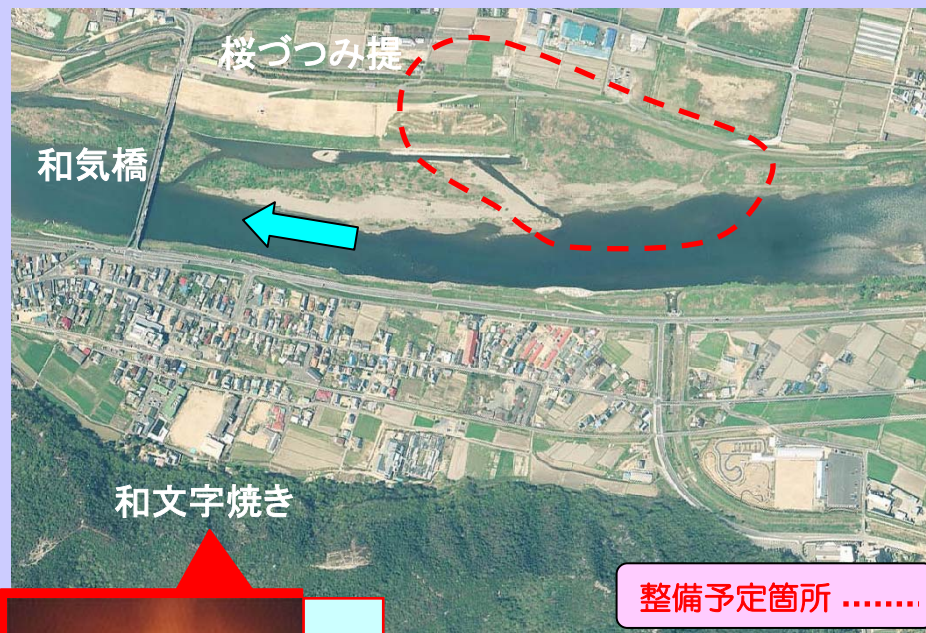
田園ブロック

- ・ 事業費 : 100百万円
- ・ 整備内容: 親水護岸、高水敷整正等
- ・ 現況の豊かな河川環境を活かし、広い高水敷から水辺へのアプローチなどに配慮し、憩いの水辺遊びの空間を整備する。

整備予定箇所からは、和文字焼きまつりを見ることができ、多くの人々が集まる場所である。

堤防天端から高水敷や水際へのアクセス整備が不十分であり、親しみがある水辺となっていない。

現況



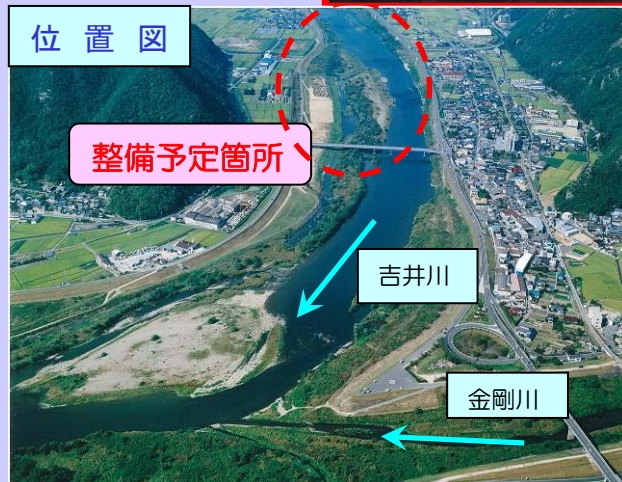
整備予定箇所

周辺堤防では桜づつみの整備を実施しており、河川公園として地域の拠点となっている



和文字焼き

位置図



整備イメージ図



事業名: 吉井川水系吉井川 田原(たはら)箇所利用推進事業

整備予定 ⑧西大寺箇所

都市近郊ブロック

(高水敷整備)

- ・ 事業費 : 150百万円
- ・ 整備内容: 緩傾斜坂路、散策路
- ・ 高水敷には運動公園や砂浜が整備され多くの利用がみられるが、各施設が単一的な利用となっているため、周辺施設を連絡するためのアクセス整備を行う。

整備予定箇所付近には西大寺観音院があり、「はだか祭り」には毎年、多くの人々が訪れている。

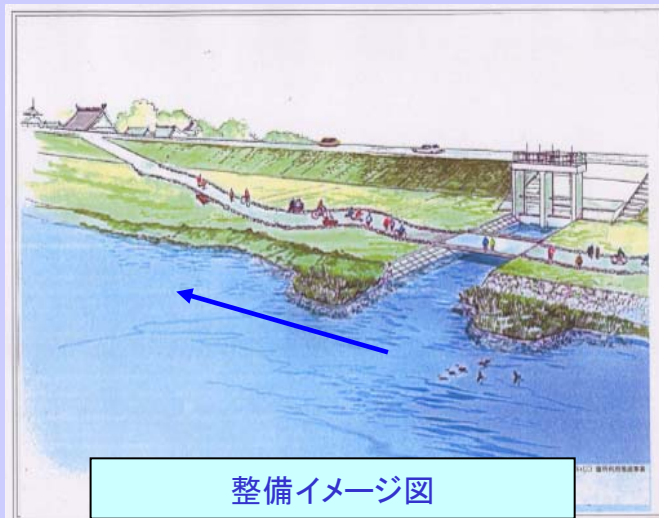
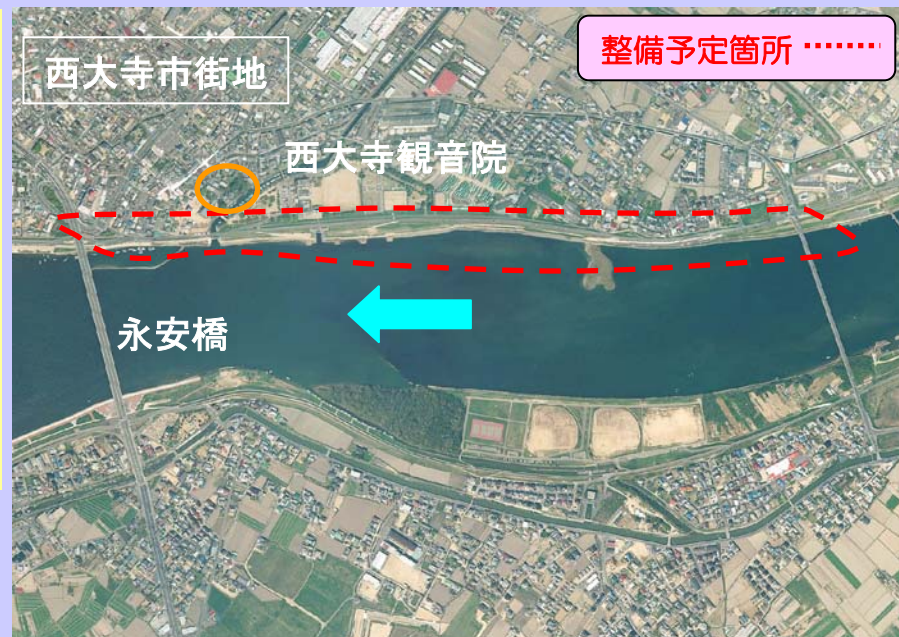


- ・ 水辺と触れ合うアクセスが悪い。
- ・ 吉井川の右岸側に市街地が形成されているが、川に近づけない。

現況



位置図



整備イメージ図

7. コスト縮減の取り組み

- 整備箇所においては、地元との合意を得て、除草作業を含め清掃などの日常管理を施設管理者が実施することで、維持管理費用を削減している。
- くまやま水辺の楽校における歩道舗装を「現地発生土を利用した舗装」で施工している。これにより副産物の発生を抑制した他、通常のカラー舗装と比較して工事費を480万円から144万円に縮減した（削減額：336万円）



地域住民による清掃活動

整備箇所と管理者の一覧

瀬戸箇所 大内ふれあい公園(瀬戸町)
豆田箇所 吉井川河川公園(瀬戸内市)
新地箇所 吉井川河川敷公園(岡山市)
熊山箇所 くまやま水辺の楽校(赤磐市)



現地発生土舗装の状況

カラー舗装 6,000円/m²



現地発生土舗装 1,800円/m²

縮減率 70%

8. 今後の対応方針（原案）

（1）事業の必要性に関する視点

- ・水辺の環境整備箇所では、新たな利用の創出や地域イベントの活発な利用など、地域の活性化に繋がった。
- ・水辺の楽校は地域の社会教育施設として、環境学習や自然体験の場として定着している。
- ・天然記念物に指定されているアユモドキを保全するためにエコロジカルネットワークを形成し、豊かな自然環境を保全する必要がある。

（2）事業の進捗見込みの視点

地域の河川利用に資する水辺環境整備に対する要望は強く、地域計画や地域からの意見を取り入れながら、協力体制を確立し、事業を実施していく。

（3）対応方針（原案）

- ・以上の観点から吉井川の環境整備事業は、**継続が妥当**。
- ・今後、施設整備や維持管理に要する費用について更なるコスト縮減に努力しつつ、地域との連携を深め、効率的で効果的な事業を継続する。